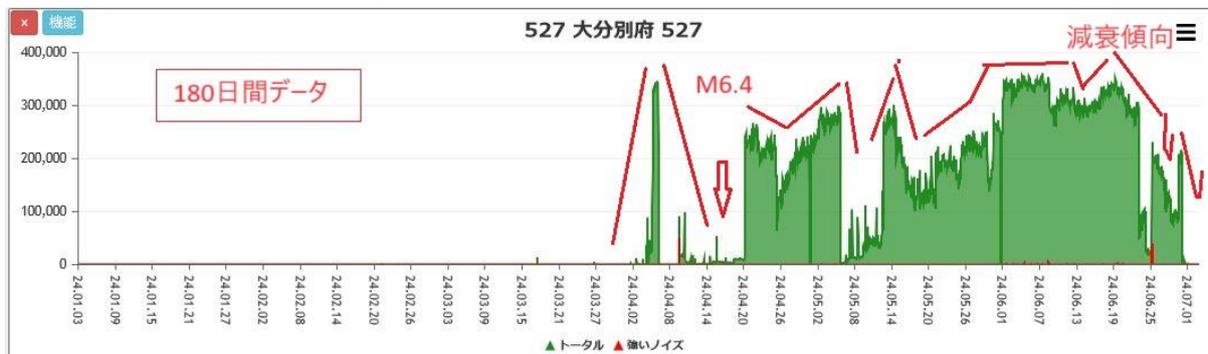


241205 大分県府の減衰予想について

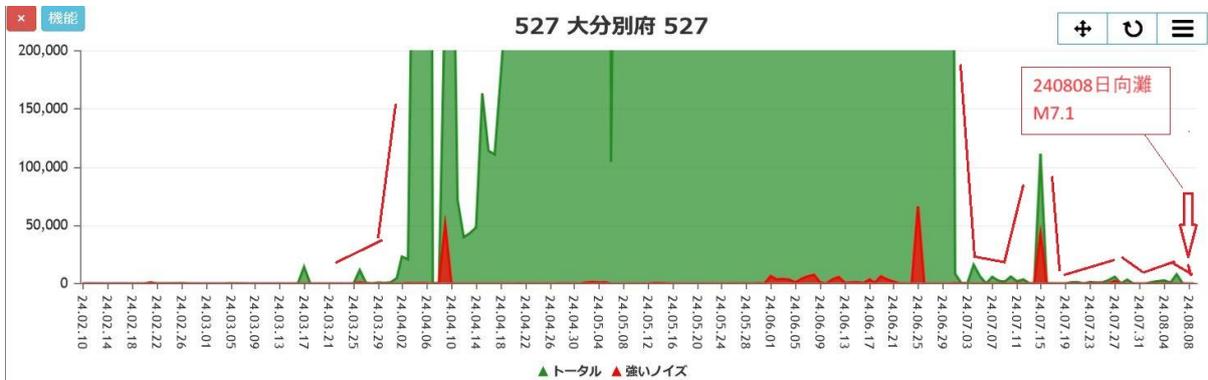


7月に大分県府の緑の塊状データが減衰し、8/8に日向灘 M7.1が発生しました。その後、大分県府のデータは8月後半から再度大きくなり、10月中頃にピークを迎え、次第に減衰しています。仮にこのまま順調に減衰していけば、12/25頃以降、年末にかけて収束し、大地震の発生の可能性があります。その場合、8/8日向灘 M7.1の前兆データよりひとまわり大きなデータの為、地震の規模も M7.1 を超える可能性があります。しかしデータの減衰は急になったりリバウンドしたりするので発震日の予想はまだ確定できませんが、いずれにせよ12月後半に九州地区で M7 超の大地震が発生する可能性が高いので、いまのうちから十分な注意と対策が必要です。以下に関連のデータを載せます。

大分県府 180 日間データ 8/8 日向灘 M7.1 の前兆



大分県府 180 日間データ 8/8 日向灘 M7.1 のタイミング



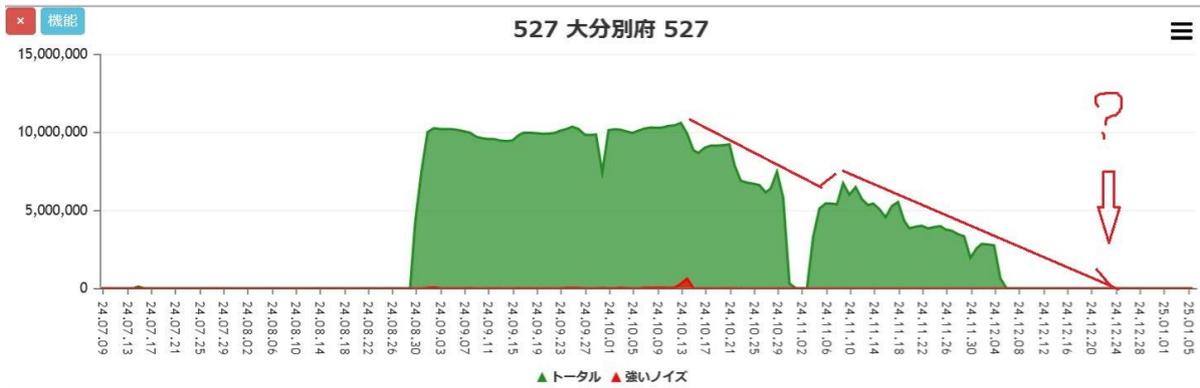
大分県府 360 日間データ 8/8 日向灘 M7.1 の次の地震のデータ



大分県 180 日間データ 次の地震の発震の時期の予想 01



大分県 180 日間 日毎データ 次の地震の発震の時期の予想 02



地震予想 (12/5 時点)

地震の規模： M7 超クラス

予想震源：九州 大分県あるいは宮崎県沖、豊後水道、日向灘など

発震予想日：現在のままデータが減衰した場合、12/25～年末 12/31 頃